

令和7年度第2回小牧市立図書館協議会会議録

- 日時** 令和8年2月13日(金)午前10時30分から正午
- 場所** 小牧市中央図書館1階イベントスペース
- 出席委員** 11名
- | | | |
|-----|-------|--------------------------|
| 会長 | 家禰淳一 | (愛知大学文学部人文社会学科教授) |
| 副会長 | 佐野吾朗 | (小牧市小中学校長会図書担当・小木小学校長) |
| | 芦田拓也 | (小牧市小中学校PTA連絡協議会委員) |
| | 高木大作 | (こまき市民文化財団事務局長) |
| | 滝沢とみ子 | (図書館ボランティア代表) |
| | 早川渡 | (愛知文教大学図書館長) |
| | 梶田光俊 | (小牧市社会福祉協議会ボランティアセンター所長) |
| | 光部明美 | (小牧市社会教育委員) |
| | 水谷直美 | (公募委員) |
| | 丸山真由美 | (公募委員) |
| | 松本高幸 | (公募委員) |
- 欠席委員** 2名
- | | | |
|--|-------|----------------------------|
| | 長江美津子 | (名古屋経済大学人間生活科学部教育保育学科特任教授) |
| | 近藤江里子 | (指導保育士) |
- 事務局**
- | | | |
|--|-------|-----------|
| | 矢本博士 | 教育部長 |
| | 岩本淳 | 教育部次長 |
| | 坪井麻紀 | 図書館長 |
| | 花里千賀子 | 図書館図書係長 |
| | 長谷川宏 | 図書館施設運営係長 |
| | 平山加奈子 | 図書館図書係主事 |
- 傍聴者** 0名
- 配布資料**
- | | |
|-------|------------------------|
| 資料1-1 | 点検評価シート(令和7年度実績)_基本目標2 |
| 資料1-2 | 点検評価シート(令和7年度実績)_基本目標5 |
| 資料2 | 令和8年度小牧市教育委員会基本方針 |
| 資料3 | 小牧市教育振興基本計画【図書館抜粋版】 |

会議内容

■開会

平山主事 令和7年度第2回小牧市立図書館協議会を開催いたします。進行を務めます図書館の平山と申します。よろしくお願いいたします。この会議は、小牧市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、会議を公開しております。本日、近藤委員、長江委員におかれましては、欠席のご連絡をいただいております。したがいまして、出席者は11名であり、委員の過半数の出席により、会議が成立していることを報告いたします。なお、傍聴者は0名です。会の開催にあたり、矢本教育部長よりご挨拶を申し上げます。

矢本教育部長 皆さん、おはようございます。教育部長の矢本でございます。本日はお忙しい中、小牧市立図書館協議会にご出席いただきまして、また日頃は、本市の図書館運営に格別のご理解、ご協力を賜りまして、改めてお礼を申し上げます。本年1月23日に衆議院が解散され、1月27日に公示、2月8日に投開票という極めて短期間の日程で総選挙が行われました。この短期決戦の中で、多くの情報が一気に流れる状況となり、正確な情報へのアクセスや事実を自ら確認する力の重要性が、改めて認識されたところです。図書館は、こうした社会環境において、信頼できる資料へのアクセスを保障し、情報リテラシーを支える基盤として大きな役割を担っております。本日の協議会では、地域の知のインフラとして、図書館がより力を発揮できるよう、皆様からご意見を賜りたいと考えております。さて、本日の議題は、本市の教育振興基本計画に掲げた基本目標を達成するため、今年度、図書館が行いました取組の点検評価と、来年度の重点施策について。また、令和9年度からの第2次小牧市教育振興基本計画の策定に向けた施策内容について、ご協議をお願いいたします。いずれも、本市の教育行政及び図書館サービスの今後を方向付ける重要な議題です。皆様から忌憚のないご意見をいただければ幸いです。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

平山主事 ありがとうございます。続きまして、次第2「議事」に入ります。これより進行は家禰会長にお願いいたします。

■議事

家禰会長 皆さん、おはようございます。お忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。日頃より、図書館運営にご理解とご協力を賜りまして、お礼申し上げます。先日、1月25日に小牧市中央図書館で開催された「お金と未来のワークショップ」というイベントを見学しました。子どもたちがお金を使う・貯めるだけでなく、選んだり、比べたり、これから自分がどういう未来を描き、様々な職業に就いていきたいとか、そういうことを考えながらお金をどう使っていくかを、小学校低学年向けにわかりやすく話しされた内容でした。子どもたちも楽しみながら知識を身につけている様子が大変印象に残っております。金融リテラシーは暮らし

の基礎であると同時に、情報を見極めていくために必要な分野でもあるかと思えます。昨今、先ほど教育部長からもお話がありましたように、情報環境がさらに複雑化しております。SNS、動画、生成AIなどですね。便利さの一方で、誤情報や、情報の偏りといったことも起こりやすくなっております。だからこそ、メディア情報リテラシーで、両方を批判的に読み解いて、確かめて活用する力の重要性が非常に増している。子どもから大人まで、ますます高まっているのが、このメディア情報リテラシーだと思います。図書館は、「読む場」とどまらずに地域の学びを支える基盤として、こうした力を育む拠点にもなり得ると考えております。本日は、教育振興基本計画に関わる点検評価、それから令和8年度の教育委員会基本方針、さらに次期の計画であります第2次教育振興基本計画について意見を伺う重要な会となっております。限られた時間ではありますが、建設的な議論をしまして、より良い図書館サービスにつなげていければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。それでは、議事(1)「小牧市教育振興基本計画に係る令和7年度実績点検評価」について事務局より説明をお願いいたします。

花里係長 それでは、議事(1)「小牧市教育振興基本計画に係る令和7年度実績点検評価」についてご説明させていただきます。お手元の資料1-1、資料3をご覧ください。令和7年度の図書館の重点施策は、施策8「こどもの読書活動の推進」から「こどもの発達段階に合わせた図書館資料の選書・充実」としてしております。今年度、重点施策として取り組む内容につきまして、「こどもが郷土への理解と愛着を深められるよう、小牧について学べる「こまきふるさとカルタ」を作成するなど、こども向けの郷土資料の充実を図る」ことを目標に掲げました。達成状況として、「こまきふるさとカルタ」全46句を作成いたしました。読み句の選定は、私たち司書が様々な小牧の郷土資料を参考にしながら、地域や年代のバランス等を配慮して行いました。読み句は五・七・五調として、子どもたちが理解しやすいよう平易な言葉を用いることで、記憶に定着しやすく、馴染みやすい内容にしました。このカルタを活用して、9月13日から9月20日の1週間、小牧市中央図書館1階イベントスペースの壁面に、大判カルタを展示し、最終日である9月20日にはカルタ大会を開催いたしました。参加者は、幼児から大人の方まで49名のご参加がありました。また、小牧原小学校2年生89名に対し、図書館見学の際に、このカルタを使ったミニ郷土クイズを実施いたしました。さらに、2月18日、米野小学校2年生の子どもたちが中央図書館を見学されますので、その際にもこのカルタを使ったミニ郷土クイズを実施する予定です。

ここで、カルタ大会の当日の様子を前方に投影しますので、ご覧ください。現物もお手元にお配りいたします。こちらの写真のように、関連する図書も展示いたしました。カルタ大会の当日は、市マスコットキャラクターの「こまき山」も登場しました。大会の始めに、「札を見つけたら歩いて取りに行きましょう」と説明したことで、皆さんルールを守って転んだりぶつかったりといったことは一切なく、楽しくカルタ大会が進みました。参加していただいた子どもたちの様子も本当に楽しそうで、開催してよかったと私たちも思っております。札を見つけた時に、同じタイミングになった時は、じゃんけんをしてカルタを取るというルールで進めました。カルタ大会が終わりましたら、宝箱を開けてプレゼントをお渡しするというお楽しみ要素も加えています。

それでは、資料の説明に戻ります。資料1-1「課題」をご覧ください。課題として、専門性の高い郷土資料は、子どもたちにわかりやすく編纂した資料が依然として少なく、今後も様々な形で資料の収集に努めていく必要があります。また、完成したカルタの知名度も十分ではないので、今後も引き続き広報やイベントを実施するなど、様々な機会に宣伝・周知を行い、カルタの活用を促進していく必要があります。「今後の方向性」として、引き続き、「こまきふるさとカルタ」を活用し、子どもが郷土への理解と愛着を深められる機会を提供していきます。また、すべての人が楽しめるように、「こまきふるさとカルタ」のバリアフリー版ということで、点訳・音訳したものを作成し、図書館の資料として活用できればと考えております。さらに、子ども向けの郷土資料を集めた「児童郷土コーナー」を中央図書館だけでなく、市民センター図書室にも設置していきたいと考えております。

続きまして、資料1-2と資料3の施策23「図書館サービスの充実」から、「障がい者サービスの実施」です。「内容」として「読書バリアフリー資料及びサービスの充実を図るとともに、障がいのある方も参加できるイベントを開催することで、すべての方の学びを支援していく」としてあります。この取組内容に対する「達成状況」について、1点目の「読書バリアフリー資料及びサービスの充実」では、継続して行っている事業の一つである対面読書サービスについて、延べ48名の利用がありました。また、読書バリアフリーサービスについては、8名の新規利用者登録がありました。利用者の拡大を目的として、障がいのある当事者の方とその家族の方に対して、読書バリアフリーサービスの個別説明会も行いました。2回行い、1回目は8月26日に3名の参加がございました。2回目は12月18日に個別の説明会を行い、2名の参加がございました。続きまして、2点目「イベント」の項目です。「(1)図書館が主催したイベント」の「ア. みて・ふれて・楽しく学ぶ！図書館バリアフリーデイズ」については、10月12・13日の2日間で中央図書館のイベントスペースにて開催しました。延べ151名の方の参加がございました。続いて「イ. お試し！だれでも対面読書サービス」については、2月4日に開催しました。資料では黒丸になっておりますが、5名の方に参加をいただきました。声のボランティア「かっこう」に協力をいただきまして、5名の方に対面読書の体験をしていただきました。続いて裏面の「ウ」、3月22日に開催予定の「読書バリアフリーサービス読む人つくる人」というイベントです。このイベントも同じくイベントスペースで行い、声のボランティア「かっこう」と、点訳グループ「たんぽぽ」のご協力を得て開催します。図書館と3者で協働し、読書バリアフリーサービスのイベントを行うというものになっております。(2)は、「市民活動団体と連携して実施したイベント」が書かれております。「ア」のところ、市障がい福祉課が主催の「こまきアール・ブリュット展」を開催いたしました。続いて「イ. 見える人と見えない人のバブリーライフ」と題し、1月10日にイベントスペースで開催されました。こちらは、こまき視覚障がい者の会の主催で行い、参加者が約200名という、大変盛況なイベントとなりました。続いて「課題」としまして、障がいのある方の読書人口を増やすためには、読書人口全体を広げていくことが必要であるということで、引き続き読書の魅力や価値を広く発信していくことが必要であるという旨をいたしました。また、障がいのある方にとっては、読書意欲があっても実際に行動に移すことが物理的・心理的障壁によって難しい場合もありますので、通常より積極的な利用勧奨も必要ではないかと考え

ております。また、読書バリアフリーサービスの提供に欠かせない音訳・点訳ボランティアの方々の高齢化と人材不足もありますので、モチベーションが低下しないように、しっかりと支援していく必要があると考えております。続いて、「今後の取組の方向性」ですが、障がい当事者及び障がい者を支援していく団体の皆様や、施設に対し、利用を促していく働きかけを行っていきたいと考えております。また、音訳・点訳ボランティアの皆様が、安定した運営が行えるように会員の獲得やスキルアップ、あるいは活動PRなどを支援していきたいと考えております。

なお、一番下の「評価委員の意見等」は、図書館協議会の委員の皆様に記載していただくところではなく、評価委員会という別の委員会がございます。この図書館協議会からは、代表として会長の家禰先生に評価委員としてご出席をいただいているところです。この評価委員会に提出する点検評価シートについて、予め図書館協議会の皆様からご意見をいただくこととなっております。説明は以上です。

家禰会長 ありがとうございました。それでは、ただいまの事務局からの説明に対して、ご意見ご質問等ございましたら、ご発言ください。

松本委員 資料 1-1 に関し質問させてください。ふるさとカルタの達成状況がありますが、実際に参加された方が幼児から大人まで 49 名と書いてあります。この年齢別の内訳が分かたら教えていただきたいと思えます。ふるさとカルタ、すごくよくできていると思っていて、郷土のことをカルタを読みながら学べるという部分が、小学生の方にすごく良いのではないかと思います。私も興味があって、実は当日覗かせていただきました。時間が早かったせいか誰もいなくて大丈夫かなと心配していましたが、49 名参加されたということで安心しました。画像を見ていましたら、やはり小学校低学年の方が多いのかと思いましたが、中学生の方も少しいたような気がして。大人の方も参加されているのかと興味を持ちましたので、教えていただきたいと思えます。

花里係長 カルタ大会の参加者内訳を確認いたしまして、後ほどご報告したいと思えます。

家禰会長 ありがとうございます。こまきふるさとカルタについて、全 46 句作成・展示・大会を開催し、非常に盛況だったということです。郷土理解を深めるうえで、読書と学びを結びつけた取り組みとして非常に価値が高いと考えます。読み句も平易な言葉で作られており、子どもへの配慮が丁寧に行われていると思えます。さらに図書館見学での活用もされており、学校連携の手段としても評価が高いと思えます。他に何かどうぞ。

水谷委員 ふるさとカルタは素晴らしい出来で、私は弱視なのですが、大判カルタの現物はよく見えて本当に素晴らしいなと思えました。課題の中でも挙げておられるように、これから普及していくのだと思っています。先ほどたまたま手にしたカルタの絵札が「や」でした。そこに、「屋根神様」という字が見えたので、小牧市内のどこにあるのか、すごく身近なところに実はあるというようなことも、観光協会の人たちの説明によって浸透させていくとか。また、大人が主催で行うのではなく、例えば、大学生や高校生の若者たちがイベントを主導するということも考

えていただくと、広い世代に広がっていくのではないかと思います。それと、私もこまき視覚障がい者の会で色々なイベントをさせていただく中で、ボランティアの募集することがあります。そうすると、「ボランティアをした証明書が欲しい」と言われることがあり、メリットがあることだと思うので喜んで発行しています。図書館も、協力する学生のスタッフに対して、「ボランティア証明書」は少し堅いかな、「観光大使」みたいな、そういう良い名前前で、証明書や協力してくれた感謝状みたいなものを渡せたら、楽しく盛り上がるかなと思いました。

家禰会長 ありがとうございます。他のご意見はございますか。

光部委員 普段は小牧児童クラブで働きながら、北里中学校でコーディネーターをしたり、ボランティアで読み聞かせをしたりしております。そういった形で小中学生と会う機会がよくありますが、先ほど水谷委員がおっしゃったように、小学校低学年向けに作られたということですが、小学校低学年だけでなく高学年も含めて、小学校等にもっとアピールしていただきたいと思います。私たちは図書ボランティアというネットワークを持っておりまして、おそらく各小中学校にも学校司書の方が在席していると思います。各小学校、中学校の学校司書・図書ボランティアを利用して、学校の行事としてカルタ大会を行っていただいたり、社会科の勉強に使っていただくとか。それから、先ほど米野小学校・小牧原小学校が中央図書館を訪れるとのことでしたが、小牧小学校も校外学習で、こちらにお邪魔させていただいたことがあります。各小学校の校外学習や図書館見学の機会を利用していただいたり、逆に図書館員が各小学校に出向いて、出張授業というような形でやっていただけたらすごく楽しいかなと思います。また、私の勤めている小牧児童クラブでは、カルタがすごく好きで年がら年中よくやっています。だから児童クラブ等の、小学生向けの団体・グループや児童館にも紹介していただければ、きっと楽しく学びながら遊べると思います。

家禰会長 ありがとうございました。先ほどの水谷委員の意見に関連して、カルタに載っているものがどこの地域・地点にあるのかということについて、グーグルマップ等を活用しながら、カルタとリンクを張り、リンクトオープンデータと言っていますが、特定の地点でカルタが出てくるというような方法が考えられると思います。また、周知していくということで、一つは色々なイベント、たとえば市民まつり等のイベントでも、このカルタを活用した取り組みを組み込んでどうかと思いました。もう一つ、貸出回数やイベントの参加者数、それから学校で何回実施したかの回数や、Web に掲載されていれば閲覧回数等を整理しておく、点検評価が非常にやりやすいと思いました。

読書バリアフリーに関して、読書バリアフリー法ができて随分経ち、近年読書バリアフリー推進計画を作る自治体も出てきております。その中で、小牧市立図書館では障がい者サービスについて多様な取り組みをされています。さらに非常に参加者も多く、「バリアフリーデイズ」は151名参加ということで、サービスの見える化としても非常に有効なイベントかと感じました。ボランティアは、昨今やり手が少ない現状もありますので、こういうイベントを開催していくと、非常に理解が高まりまして、ボランティアをやってみようかなという方もいるかなと思います。他

に何かご意見等ありましたらどうぞ。

早川委員 本学でも日本人の学生もいますし、他に留学生もいます。その中で、日本の文化を学ぶ機会があるので、特に大学の所在地が小牧市ということで、こういったイベント等に色々協力とか、相互に学びができるの良いかなと思っています。本学でも、「小牧学」という学びも行っておりますので、何かそういったところでも協力できるの良いかなと思っています。

家禰会長 ありがとうございます。他にご意見・ご質問ございますか。

滝沢委員 このふるさとカルタですが、例えば、カルタ本体ではなくて内容が分かるような冊子と言ったら大げさですが、そのようなものを作って、色々なところに置いておくということも一つの方法かなと思います。冊子などがあったらやはり手に取って見やすいかなと思い、色々な人が手に取って見る機会が増えて良いのではないかと思いました。

家禰会長 ありがとうございます。他にご意見・ご質問はございますか。

梶田委員 障がい者サービスの実施の「今後の取組の方向性」というところで、音訳・点訳ボランティアの安定運営を図るために、会員獲得やスキルアップ、活動のPRなどを支援していきますと書いていただけて、大変ありがたいなと思っています。うちのボランティアセンターにも登録いただいているグループさんたちですが、活動がなかなか継続できない、その原因は新しい会員がなかなか入ってこないことです。ボランティアセンターでも養成講座を行っていますが、希望される方はやはり若干少ないと感じているので、具体的にどんな支援を考えているのか、また、協力できる場所があったら協力したいと思いますので、教えていただけるとありがたいです。

花里係長 ご質問ありがとうございます。読書バリアフリーのボランティアの皆様に対して、どのような支援を考えているかというご質問でした。図書館がボランティアの活動を支援していかないと、どうしてもモチベーションも下がってしまい、活動も弱まってしまいます。来年度も、可能であればボランティアの皆さんと協力して、イベントなどの催しをしたいと思っております。実績にもありますように、1月に開催しましたイベントは約200名の方が参加していただき、10月の12日・13日の2日間で行ったイベントも、151名という多くの参加がありました。図書館サービスの中でも読書バリアフリーサービスは、児童サービスやレファレンスサービスに比べると、触れる機会の少ない図書館サービスと言われております。ですが、こういった実績を見ますと、引き続き図書館でイベントを行うことで、今まで読書バリアフリーサービスを知らなかった方、イベントをやっているということを知らずに来館された方にも、目に触れていただく機会が増えていく。そうすることで理解が深まっていき、ボランティアをやってみようかしらという方の、裾野が少しでも広がっていくと良いなと考えておりますので、引き続き催し等を開催することで支援していきたいと考えております。

家禰会長 ありがとうございます。他にご意見・ご質問はございますか。

水谷委員 私からも少し追加で、点訳ボランティアさんや音訳ボランティアさんは当事者のいないところで活動していらっしゃいます。なかなか当事者がどのように感じているか、どんなに感謝しているか、「顔が見えない」のは、ちょっと辛い部分があるのではないかと思います。ですので、私たち当事者の団体としては、イベントの時にボランティアの方に来ていただいて、当事者の方々の顔を見ていただき、接する機会を持ちたいなと思っています。実はこの間のイベントでも、職員に読書バリアフリー制度を紹介していただきました。その時に初めて聞いたという方もいらっしゃいました。他の市町から来た人も、イベントの後で職員に質問に行く人も何人かいました。ですので、機会あるごとに説明していただくということも必要ですが、職員やボランティアさんだけでなく、当事者も動いていかなければいけないことだと思っています。

家禰会長 ありがとうございます。図書館でも取り組みをされておりますが、また新たな企画とかを考えられましたら、様々な機会で啓発的なことも含め取り組んでいただければと思います。色々参考になるご意見があったと思います。事務局で取り組んでいけそうなところ、検討するところもあると思いますので、精査して取り入れていただければと思っています。それでは意見が出尽くしたようですので、議事(1)については以上で終了といたします。続いて議事(2)「令和8年度教育委員会基本方針」について事務局より報告をお願いいたします。

花里係長 それでは議事(2)「令和8年度教育委員会基本方針」について説明をさせていただきます。資料2をご覧ください。令和8年度の教育委員会基本方針のうち、図書館が重点的に行う具体的な取り組みとして、次の2点を選定いたしました。施策8「こどもの読書活動の推進」から、「学校図書館の運営支援」。こちらを令和8年度の重点項目の1つ目といたしました。内容としましては、学校司書と連携しながら、児童生徒の探究的な学びを支援します。当館の豊富な蔵書と司書のスキルを活用し、身の回りの疑問や多様なテーマに興味を持つきっかけづくりと、膨大な情報の中から適切なものを選び取る、情報リテラシー向上に資する取り組みを行いたいと考えております。

長谷川係長 2つ目は、施策23「図書館サービスの充実」から、「図書館・各図書室等の連携」を重点項目としました。令和8年4月1日より市民センター図書室については、公民館の休館日に合わせ、週1日休室日を設けるとともに、午後5時以降の無人運営を実施します。利用者自ら資料の貸出、返却手続きや予約資料の受け取りを行うことができるよう、各図書室に自動返却機や予約資料受取ロッカーなど新たな機材を導入し、準備を行ってまいりました。この2月から試行期間として、夕方5時以降は無人運営の状態を有人で実施しております。来年度は実際に開始されますので、利用者の利便性確保に際し、より一層、図書館・図書室の連携が必要となってくるため、この項目を重点施策とさせていただきます。説明は以上です。ご審議のほど、よろしくをお願いいたします。

家禰会長 ありがとうございます。ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問等ございますか。重点施策としては2点、学校図書館の運営支援と、図書館・図書室等の連携についてです。学校図書館の運営支援では、探究的な学びの支援に加えて、膨大な情報から適切なものを選び取

る情報リテラシー向上も含まれております。これを公共図書館と学校司書との連携でもって強化していくということだと思います。学校司書の方は、制度的に予算措置されにくい自治体も多くあります。一人しかいないという形ですね。ですので、公共図書館側から色々な連携をする、そして司書のスキルアップを図っていくということは、非常に重要な施策になるだろうと思います。具体的にこういった形で事業に落とし込むかが、これからの作業になるだろうと思っております。

佐野副会長 意見というよりも、学校の立場からお礼になりますけれども、学校司書が巡回をさせていただいて、本当に学校現場は助かっています。今年度から始まった「夢チャレンジ科」の探究授業では本当に力になっていただいています。それから学校図書館の環境整備とか、魅力的なPOPの作成とか、本当に黙々とお仕事をされていて、頭が下がる思いです。特にうちの学校に来ていただいている司書はとっても謙虚な方で、お願いしたいことを快く引き受けてくれますので、逆にこんなこと頼んで良いかなどと思ってしまうぐらい、本当によくやってくれています。できたら、こんな風に学校側でもう少し対応してもらえると良いのになという、司書さんからのご意見も伺えると、またお互いに協力してやっていけるかなと思いますので、よろしく願います。

家禰会長 ありがとうございました。他のご質問どうぞ。

梶田委員 元教員として非常にありがたいなと思います。ですが反面、今はIT化が非常に進んでいるので、子どもたちにとっては情報を得る手立てがタブレット、これが一番手軽だと思います。そこを、現物に触れる楽しさや、そこから得る知識の豊かさを実感させないと、なかなか子どもたちはその手軽さから抜け出せない。現状では、大抵の子どもたちは安易にタブレットに頼ってしまうので、相当頑張っていただかないと難しいかなと思っています。是非とも応援したいと思いますし、やはり子どもたちが知識の豊かさに楽しみを感じる、喜びを感じられるような情報提供のあり方も工夫をしていただきたいと思います。よろしく願います。

家禰会長 ありがとうございます。他にご意見とかご質問とかございますか。

松本委員 市民センター図書室に関して要望です。より利用しやすくなるということ、大変ありがたいと思います。私自身、中央図書館が新しくなって、ふらっと来てただ時間つぶしによく利用しています。やはり市民センターの図書室というと、自分の中では「今日はがっつり勉強するぞ」という決意がないと少し近づけないという雰囲気があります。イメージだけかもしれないですが、ぜひ、中央図書館がこんなに良い雰囲気になりましたので、物理的に制約はあると思いますが、市民センターの図書室についても、少しでも近づけていただくと良いかと思っておりますので、お願いしたいと思っております。

家禰会長 ありがとうございます。市民センターの午後5時以降の無人運営についてですが、一つは安全面であったり、支援が必要な利用者への配慮であったり、トラブル対応、それからデジタルディバイドの問題等の配慮、そういう運営設計の説明をホームページ等を通じて発信し

ておいた方が良いかと思えます。市民への説明責任という意味でも、なかなか書きにくい部分もあろうかと思いますが、説明を入れておいた方が良いと思えました。他に何かご意見とか、ご質問とかございますか。…それでは、意見が出尽くしたようですので、議事(2)につきましては以上で終了といたします。続いて、議事(3)「第2次小牧市教育振興基本計画」について、事務局よりご報告をお願いいたします。

坪井館長 それでは、議事(3)「第2次小牧市教育振興基本計画」について、ご説明を申し上げます。平成29年3月策定の小牧市教育振興基本計画が、令和8年度に終期を迎えることから、令和9年度を始期とする第2次小牧市教育振興基本計画の策定を予定しております。図書館においては、施策8「こどもの読書活動の推進」及び施策23「図書館サービスの充実」が該当しており、次期計画において、どのように計画を継続・発展させていくか、本協議会でご審議いただき、皆様のご意見を伺うものです。では、資料3をご覧ください。現行の小牧市教育振興基本計画です。現行の計画から一部必ず変更となる箇所がありますので、ご説明いたします。まず、施策8「こどもの読書活動の推進」の下から5番目に記載されております「学校図書館の運営支援」について、現在、学校教育課と図書館が担当課となっております。第2次計画におきましても、引き続き学校図書館の運営を支援してまいります。また、「内容」の部分、「小中学校へ市立図書館から職員を派遣し」という文言が変更になります。この点について、令和5年度までは市立図書館から学校図書館の事務補助員を派遣しておりましたが間接的な支援にとどまっておりましたので、子どもの読書活動を活性化し、直接的な支援ができるよう、令和6年度から事務補助員という立場から司書資格を有する学校司書を採用することとし、所管課を図書館から学校教育課に変更したことによるものです。これに伴い、第2次計画における本取組の担当課は学校教育課となりますが、今後も引き続き学校図書館の運営を支援してまいりますので、図書館としても取り組むべき項目がありましたら立項していきたいと考えております。次に、「学校図書館・市立図書館連絡協議会の開催」につきましても、図書館から学校教育課へ移管されましたので、担当課が変更となります。担当課は移管されましたが、引き続き子どもの読書活動を積極的に推進していきたいと考えております。

続きまして、施策23「図書館サービスの充実」をご覧ください。こちらの施策につきましても、図書館サービスの充実に取り組んでまいりたいと考えております。委員の皆様には、令和9年度から10年間の計画として新たに策定される第2次小牧市教育振興基本計画に盛り込むべきサービスや拡充すべき内容、あるいは削除・縮小すべき内容など、忌憚のないご意見を伺いたいと思います。例えば、ここに記載のある項目では不足しているアイデアや内容等がございましたら、自由闊達にご発言いただければと思います。説明は以上です。

家禰会長 ありがとうございます。それではただいま事務局からの説明に対しまして、ご意見ご質問等ございましたらご発言をお願いいたします。特に、令和9年度以降の施策になってきますので、何か良いアイデアがあればおっしゃっていただければと思います。私から一つ、図書館サービスの充実について、具体的になってしまいますが、小牧市は航空宇宙産業の集積地にもなっておりまして、アジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区という位置づけにもなっ

おります。内閣の基盤が非常に強固になり、17の戦略分野というのが掲げられておりまして、その中に航空宇宙というものがあります。そこで色々な投資をしていくことが本格化してくるかと思しますので、図書館としては、そういった航空宇宙産業に関しての情報と資料の連携といったことも考えていってはどうかと思っております。

それからもう一つ、低学年向けに行われました「お金と未来のワークショップ」という金融リテラシー講座のことですが、徐々に図書館の中でも金融リテラシーの講座をやっているところが出てきております。昔は、お金の話を子どもにするのは非常にタブー視されていたところがあって、そういう話を保護者から聞くこともないということがありましたが、社会の中で生きていくためにお金は基盤になってきますので、小さい時から金融に関するリテラシーを高めていくということは、非常に重要になってくると思います。そういったこともどこかに入れていければと思っております。

もう一つ、学校司書について学校教育課に移管されたこともあり、基本的に学校司書に関しては学校教育課の方で主管してもらうのが一番良いと思っております。その上で、公共図書館と学校図書館と本来の連携ができてくるかと思えます。学校図書館に対する運営の支援というのを継続してやっていただければ良いと考えております。先ほど言いました金融リテラシーもですが、先ほど教育部長からもお話がありました情報リテラシー、最近ではメディア情報リテラシーと言っていますけれども、マスコミ・インターネット・SNSの情報も含めて、批判的に見ていくことが非常に重要なテーマになってきております。インターネットの世界は自分で選ぶ世界ではありますが、誤情報も非常に多いです。かといってマスコミ情報に誤情報がないのか、偏りがないのかというと、色々ところで議論が出ております。そういうことも含め、様々な形でメディア情報リテラシーを重点的に入れていくことも一つの方法かと考えています。他に何かご意見とか、ご質問でも結構ですし、ちょっとしたアイデアが形を変えたりして、広がっていったりもしますので。

水谷委員 今聞いていて私の仲間（編注 視覚障がい者）の話を思い出したのですが、ホームページ等の情報になかなかたどり着けないといったことがありました。今月図書館でどんなイベントがあるのか、来月どんなイベントがあるのかということを、サイネージで映していらっしゃるのだと思いますが、それが分かりにくいです。たとえば受付のところで、「今月のイベントが何々あります」みたいなことが、もう少し分かりやすく掲示されていると嬉しいということを仲間から聞きましたので、お伝えします。

家禰会長 ありがとうございます。関連してですが、学生が卒業論文で取り組んでいたものに、情報にたどり着く「たどり着きやすさ」というものを研究テーマにしたものがありました。色々な形でバリアフリーなホームページを作ってはいますが、なかなかその情報自体にたどり着くのが難しいという側面があります。ですので、特に障がいを持った方に対してどういう形で情報にアクセスしやすい方法を提供するのか考えてほしいと思います。例えばホームページもそうですが、アクセスしやすいページになっているのかどうかとなると、なかなか難しい。です

ので、ホームページの作りも含めて、情報へのたどり着きやすさというところを一つの側面として、何か良い方法を考えていただければと思います。他に何かありますでしょうか。

滝沢委員 関係あるかどうかわかりませんが、えほん図書館にある返却ポストについて。返却箱は相当大きいものを置いていただいています。開館以来変わらないものでしょうか。ずっと同じ状態にありますか。

花里係長 えほん図書館は平成20年に開館しましたが、その時から同じ返却ポストが設置されています。大きいものですが、既製品で、使いやすいということで購入したものです。

滝沢委員 あの返却ポスト、最初の頃に一度利用したことがあります。入れるとすごく大きな音がしました。ドンという音がして心が痛み、本は大丈夫かなと思ってしまいました。閉館時間が早くなり、開館している間に返そうとしましたがどうしても都合が悪くて間に合わず、ポストに入れましたが、その時の音が忘れられなくて、もうここには二度と返してはいけないというふうに思ってしまいました。それからずっとあの状態の返却ポストとのことです。どうにか改善できるものだったらしていただけたらと思います。本に対しての愛情というか、本を大事にすることにもつながっていくのではないかと思いますので、一度考えていただけたらありがたいです。

花里係長 ご心配いただきありがとうございます。えほん図書館の返却ポストですが、標準的なものになります。音が大きくびっくりされて心が痛んだということで、申し訳ありません。ただ、中を開きますと実は音や衝撃、破損を防止するようにクッションとしてバネが入っているので、衝撃は抑えられています。大きさについても、既製品で標準装備になっておりまして、小牧市だけではなく、他の公共図書館でスタンダードに導入されているものになります。あの大きさになっているのは一つ理由がございまして、たとえば年末年始は閉館期間が長くあり、返却をされる方も多くいるため、年始に開けると本当にいっぱいになっています。そういった事情もあり、あのサイズが妥当だろうということで、購入いたしました。たとえば、ポスト内に衝撃を吸収できるようクッションを敷くなど、大きな音が出にくくなるような対応策を講じていきたいと思っております。貴重なご意見ありがとうございます。

家禰会長 ありがとうございます。返却ポストについて昔はバネとかがなくて、クッションを敷くなど工夫して対応をしていましたが、最近はバネ付きのものが出て衝撃を和らげるようになってます。また、年末年始で返却ポストを閉めてしまう図書館もあります。大量に返ってきて入らなくなってしまうので、年末年始は借りておいてくださいと、返却ポスト自体閉めてしまうという方法をとっている図書館もあるということです。他に何かございますか。令和9年度に盛り込むべきもので何か良いアイデアや思いついたことがありましたら、また事務局におっしゃっていただければ参考になります。なかなか図書館の中だけで考えていると良いアイデアが思いつかないこともありますので、皆さんが思いついたことがヒントになったりします。ですから私も含め、何か思いついたところで図書館に「こんなことやったらどうか」ということがあれば、忌憚なく言っていただければと思います。では、意見が出尽くしたと思っておりますので、議

事(3)については以上で終了といたします。これにて本日の議事は全て終了いたしました。それでは事務局の方にお返しいたします。

花里係長 報告をさせていただきます。先ほどカルタ大会の49人の内訳に対する質問がございました。お一人お一人の具体的な年齢は聞いておりませんが、49名のうち28名の方が幼児の方と小中学生を合わせた中学生以下ということになります。大人の方が21名、合計49名ということで報告をさせていただきます。

■閉会

平山主事 事務局より3点、事務連絡を申し上げます。1点目、本日の会議録を事務局で作成いたします。後日、皆様へ内容確認のメールをお送りいたしますので、ご確認の上、修正点等ありましたらご連絡をお願いいたします。2点目、今年度の図書館協議会は今回で終了となりますが、現委員の任期は6月30日まで継続いたします。公募以外の委員の皆様におかれましては、異動や退職等により、現在の役職を解かれますと、本協議会委員も同時に解かれることとなります。異動等がお分かりになりましたら、お手数ですが、図書館までご連絡くださいますようお願いいたします。関連して3点目、委員の改選についてでございます。7月1日より、新たに委員となられる皆様につきましては、順次調整を進めてまいります。また、公募委員につきましても、広報こまき4月号にて募集をする予定です。なお、令和8年度第1回図書館協議会の開催時期は、7月から8月頃を予定しております。以上、よろしく願いいたします。これをもちまして、令和7年度第2回小牧市立図書館協議会を閉会いたします。ありがとうございました。